

こんにちは ふくま健治です

活動報告ニュース
2019年8月号

生健会が県・市と夏季協議

大分市は8月2日、大分県は8月9日に協議をおこないました。

生保利用者へ夏季加算の新設を

39項目の要求について、県より回答うけ、協議をすすめました。



(土地改良会館5F会議室)

猛暑つづきのなか、日田生健会よりの強い要望である生活保護利用者への夏季加算の新設については、「国へ要望する」「県独自の設置は困難」との回答にとどまりました。

県営住宅の営繕要求も多数だされ、「現地調査」を約束しました。

「消費税増税中止」「子ども医療の中学校卒まで無料に」「高い国保税の引き下げ」「介護負担の軽減」など、多くの要望で協議が進められました。

ワンコインバスの存続を強く要求



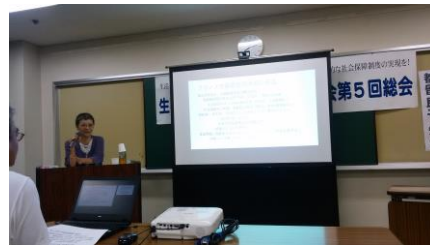
大分市では42項目の要求で協議をおこないました。ワンコインバスについて、「暮らしにも財布にもやさしい制度」「全国に誇れる高齢者者施策」

(市教育委員会室) 「100バス存続」への強い要望が寄せられました。また減らない年金を、定額年金者への底上げ対策について議論が集中しました。生活保護では、保護決定は14日以内という法定期限を守るとりくみがすすめられていることなどが明らかになりました。

「ワンコインバス」を守る署名は、9月市議会へ提出します。ご協力ください。

生存権裁判支援する大分の会

第5回総会と記念講演



8月10日、記念講演は、「生活保護はこれでいいのか？」ーフランスとの比較からの課題ーと題して都留民子氏が講演しました。同じ資本主義国でありながら

(コンパルホール305) 日本の社会保障の貧困を痛感させられました。総会は、活動報告、活動方針、予算案、新役員を承認しました。

市政懇談会開かれる

8月17日、党市議団主催の市政懇談会は、アートプラザ研修室で開催されました。

私は、6月市議会に提案された予算議案等の内容、ワンコインバス継続求める陳情の審議経過と結果、今後の運動について、10月からの消費税増税にともない手数料などの値上げ、幼保無償化、プレミアム商品券などの反動減対策について報告し、消費税増税中止のとりくみを訴えました。岩崎・斉藤両市議も一般質問内容と成果などについて報告しました。



(アートプラザ研修室)

参加者からは「ワンコインバスを守る運動を強めよう」「消費税は中止させましょう」「祝祭広場、イルミネーション事業、豊予海峡計画などの無駄遣いをやめさせよう」などの意見・要望が寄せられました。懇談会の終了後、中心商店街でのワンコインバスを守る署名活動に参加しました。

第3回定例市議会は9月2日に開会します

補正予算などの審議と前年度の決算審査の議会となります。

暮らしや地域の要求をお寄せください

ふくま健治生活相談所

大分市東大道3-2-6
546-4505 (FAX兼用)
携帯090-2714-5612

